

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームゆあーず 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応にて子どもに合わせた療育の提供ができる。	1対1のやり取りを大切にしています。本児の好きなことから遊びを広げて行ければと思います。得意なこと苦手なことを把握したうえで色々な遊びを提供し、自信につながるようにしたいです。そして、子どもたちの主体性や能動性を大事にします。やらされるより「やってみたい」を引き出していきたいです。	子どもによってですが、成長に合わせペア療育の導入をしていく。 遊びの引き出しを増やせるように日々考えています。
2	保護者同伴にて特性の共有、課題の共有、困りごとの相談など対応が利用ごとに出来る。保護者支援に力をいれている。	子育てにおいて日々悩まれる保護者に対して寄り添えるように支援したいと考えています。職員も手本となるような子どもとの関りができるように意識しています。答えはないですが、一緒に考えることで良い方法に導ければと思います。	相談したくない、困り事はない方でも話しやすい環境を作ることや関係性を良くできるように努力をしていきます。
3	子どもと保護者への安心感の提供に努めています。	満足度を高めるために一人一人大切に考えています。それぞれの安心感を考え日々打合せを行っています。	子どもの療育後の振り返り、保護者との会話の共有を繰り返し、次につなげられるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベントや外出が少ない。	子どもたちの経験を積むためにはイベントや外出は大事だと考えます。	一つのグループを作りイベントを行ったが、より多くの子どもにも提供するためには、人手と時間が必要となります。ボランティアの活用も考えていきます。
2	保護者同士の関わる機会が作れていない。	個別療育をしているからか、保護者同士の集まりを希望する声はあるも少ない。	以前イベントで交流し、情報交換していたこともあったので、そのような機会が作れるようにしていきたいです。
3			